

**製品名: ADRM1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe85261**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.62mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC 1:50-1:200,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 42 kDa; Observed MW: 42 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ADRM1
別名	ARM1; ARM-1; GP110
遺伝子 ID	11047.0
SwissProt ID	Q16186
免疫原	ヒト ADRM1 の合成ペプチド

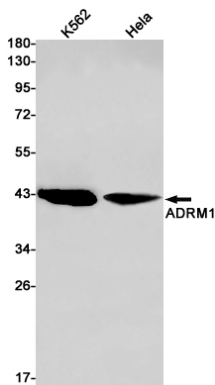
**背景**

26S プロテアソームは、ユビキチン化されたタンパク質の ATP 依存性分解に関与する多タンパク質複合体です。この複合体は、細胞

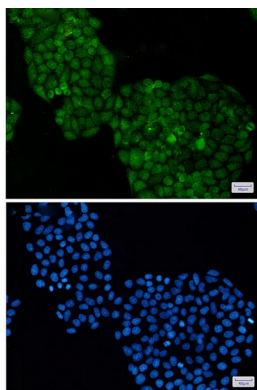
機能を阻害する可能性のあるミスフォールドタンパク質や損傷タンパク質を除去し、不要になった機能を担うタンパク質を除去することで、タンパク質の恒常性維持に重要な役割を果たします。そのため、プロテアソームは細胞周期の進行、アポトーシス、DNA 損傷の修復など、数多くの細胞プロセスに関与しています。複合体内では、プロテアソームユビキチン受容体として機能します。タンパク質分解時には、19S 関連脱ユビキチン化酵素 UCHL5 および PSMD14 と結合し、活性化します。UCHL5 は 19S 調節粒子と可逆的に結合し、PSMD14 はプロテアソームリッドサブ複合体の固有のサブユニットです。

## 研究分野

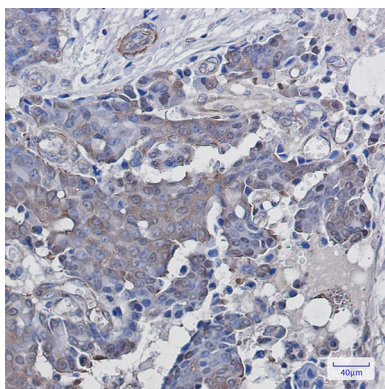
## 画像データ



ADRM1 抗体を使用した K562、HeLa 溶解物中の ADRM1 のウエスタン ブロット分析。



ADRM1 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa における ADRM1 (緑) の免疫細胞化学分析



ADRM1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。